平成20年度 事業評価書

地 域 名	北海道洞爺湖町ほか	選定年度	H19年度	事業規模	小規模
まちづくり協議会名	洞爺湖地域温暖化対策まちづくり協議会				
モデル事業名	洞爺湖地域温暖化対策まちづくり				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業期間	H19年度	普及啓発事業として、雪蔵貯蔵施設等普及啓発のための広報資材作成、広報誌によるチーム・マイナス6%登録の普及啓発、児童を対象とした環境教育、普及啓発のための看板設置等を実施。
	事業終了後	H20年度	事業期間終了のため、事業は実施していない。
交付金事業	事業期間	H19年度	<p>既存冷蔵貯蔵施設の代替エネルギー源とするため、雪氷庫の増設及び雪氷貯蔵庫を新設。</p> <p>冬季間の農業用ビニールハウス熱源として炭窯ボイラーを整備。泉温低下が著しい地区の泉温確保にヒートポンプ加温施設を整備。</p> <p>温泉街のホテル・旅館の冷房施設を湖水利用式に整備し、暖房・給湯施設に排水利用式に整備。</p> <p>また、ホテルや旅館からの廃食油をリディーゼル車燃料として活用するため、廃食油ろ過施設及び車両2台にSVF装置を取付け、伊達地区においてBDF製造装置を導入。</p> <p>さらに、ホテル・旅館等に木質ペレットストーブを導入し、同時にペレットプラントを整備。</p> <p>また、北海道洞爺湖サミット開催ホテルにおいて、省エネ、CO2削減対策としてBEMS事業を導入。</p>
		事業終了後	H20年度

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	温泉等の観光資源を踏まえ、これらの設備を省エネ化することで、地域内外への普及啓発のほか、観光産業の経費削減等による経済効果を期待できる。また、平成20年度の「北海道洞爺湖サミット」を契機に、地球温暖化防止の取組を推進し、継続することができれば、地域としての特色を国内外にアピールできる。	
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考
	目 標 値	5,423.4 H19年度事業分
	実 績 値	5,389.7 H19年度整備施設のH19年度稼働実績
	(目標値・実績値単位:t-CO2/年)	
	交付金事業による各種省エネ設備の設置等により、ほぼ計画通りの効果を上げている。設備を導入したホテル・旅館等においては、宿泊客等への周知を図り、積極的にアピールすること等により、地域のさらなるイメージアップ等に取り組んでもらいたい。また、住民への普及啓発等に取り組む等、地域をあげた活動に発展させていくよう期待する。	
③経済活性化効果	各導入主体は新規設備運用にともなう燃料費節減効果を得ることができている。	
④その他		